

2次曲線 $y^2 = 2x^2 + 2x - 1$ の離心率は コ である。

(20 産業医大 医 1(10))

【答】

コ
$\sqrt{3}$

【解答】

$$y^2 = 2x^2 + 2x - 1 \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

平方完成して式を整理すると

$$y^2 = 2\left(x + \frac{1}{2}\right)^2 - \frac{3}{2}$$

$$2\left(x + \frac{1}{2}\right)^2 - y^2 = \frac{3}{2}$$

$$\therefore \frac{\left(x + \frac{1}{2}\right)^2}{\frac{3}{4}} - \frac{y^2}{\frac{3}{2}} = 1$$

となり、 $\textcircled{1}$ は双曲線である。焦点は x 軸上にあり、焦点の x 座標は

$$-\frac{1}{2} \pm \sqrt{\frac{3}{4} + \frac{3}{2}} = -\frac{1}{2} \pm \frac{3}{2} = 1, -2$$

であり、頂点間の距離は

$$2\sqrt{\frac{3}{4}} = \sqrt{3}$$

である。

よって、離心率 e は

$$e = \frac{(\text{焦点間の距離})}{(\text{頂点間の距離})} = \frac{1 - (-2)}{\sqrt{3}} = \sqrt{3} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

- 定点 F と F を通らない直線 l があるとき、 F までの距離 PF と l までの距離 PH の比 $\frac{PF}{PH}$ が一定な点 P の軌跡は 2次曲線になる。 $\frac{PF}{PH}$ を離心率といい、 e で表す。

(i) $e = 1$ のとき

これは放物線の定義である。

(ii) $e \neq 1$ のとき

(ア) 焦点の座標 $(\pm c, 0)$ ($c > 0$)、長軸の長さ $2a$ ($a > 0$) の楕円を考える。

$P(x, y)$ がこの楕円上にあるとき、楕円の定義より

$$\sqrt{(x-c)^2 + y^2} + \sqrt{(x+c)^2 + y^2} = 2a$$

であり、 $\sqrt{(x+c)^2 + y^2} = 2a - \sqrt{(x-c)^2 + y^2}$ を 2乗して整理すると

$$(x+c)^2 + y^2 = 4a^2 - 4a\sqrt{(x-c)^2 + y^2} + (x-c)^2 + y^2$$

$$4a\sqrt{(x-c)^2 + y^2} = 4a^2 - 4cx$$

$$\therefore \sqrt{(x-c)^2 + y^2} = \frac{c}{a} \left(\frac{a^2}{c} - x \right)$$

を得る。 $\sqrt{(x-c)^2 + y^2}$ は焦点 $(c, 0)$ と点 P の距離 PF であり、直線 $x = \frac{a^2}{c}$ を

l とおくと、(左辺) と $\frac{c}{a}$ が正であることより $\frac{a^2}{c} - x > 0$ が確認され、 $\frac{a^2}{c} - x$ は

点 P と直線 l との距離 PH である。

$$PF = \frac{c}{a} PH \quad \therefore \frac{PF}{PH} = \frac{c}{a}$$

すなわち

$$(\text{離心率 } e) = \frac{c}{a} = \frac{2c}{2a} = \frac{(\text{焦点間の距離})}{(\text{長軸の長さ})}$$

である. 楕円 $\frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} = 1$ ($a > b > 0$) では, $e = \frac{c}{a} = \frac{\sqrt{a^2 - b^2}}{a}$ より,
 $0 < e < 1$ であり

$$\text{焦点 } (ae, 0) \text{ に対する準線は } x = \frac{a}{e}$$

$$\text{焦点 } (-ae, 0) \text{ に対する準線は } x = -\frac{a}{e}$$

である.

(イ) 焦点の座標 $(\pm c, 0)$ ($c > 0$), 頂点間の距離 $2a$ ($a > 0$) の双曲線を考える.

$P(x, y)$ がこの双曲線上にあるとき, 双曲線の定義より

$$\left| \sqrt{(x-c)^2 + y^2} - \sqrt{(x+c)^2 + y^2} \right| = 2a$$

であり, $\sqrt{(x+c)^2 + y^2} = \pm 2a + \sqrt{(x-c)^2 + y^2}$ を 2 乗して整理すると

$$(x+c)^2 + y^2 = 4a^2 \pm 4a\sqrt{(x-c)^2 + y^2} + (x-c)^2 + y^2$$

$$\mp 4a\sqrt{(x-c)^2 + y^2} = 4a^2 - 4cx$$

$$\therefore \sqrt{(x-c)^2 + y^2} = \frac{c}{a} \left| \frac{a^2}{c} - x \right|$$

を得る. $\sqrt{(x-c)^2 + y^2}$ は焦点 $(c, 0)$ と点 P の距離 PF であり, 直線 $x = \frac{a^2}{c}$ を
 l とおくと, $\left| \frac{a^2}{c} - x \right|$ は点 P と直線 l との距離 PH である.

$$PF = \frac{c}{a} PH \quad \therefore \frac{PF}{PH} = \frac{c}{a}$$

すなわち

$$(\text{離心率 } e) = \frac{c}{a} = \frac{2c}{2a} = \frac{(\text{焦点間の距離})}{(\text{頂点間の距離})}$$

である. 双曲線 $\frac{x^2}{a^2} - \frac{y^2}{b^2} = 1$ ($a > 0, b > 0$) では, $e = \frac{\sqrt{a^2 + b^2}}{a} > 1$ であり

$$\text{焦点 } (ae, 0) \text{ に対する準線は } x = \frac{a}{e}$$

$$\text{焦点 } (-ae, 0) \text{ に対する準線は } x = -\frac{a}{e}$$

である.